

1972 (昭和 47 年)

沖縄返還を実現

「小さな問題も見落とさない」

佐藤栄作内閣で初入閣。沖縄復帰返還問題を担当。島ごとの問題があると痛感し、直接話を聞くため 48 の有人離島の全てを見て回った。

生誕 101 年を迎えた山中貞則氏。新型コロナウイルスの影響を受け延期となっていた「山中貞則生誕 100 年祭」が 7 月に開催されました。それを記念し山中貞則氏の生き方や功績に迫ります。



1988 (昭和 63 年)

「消費税生みの親」

税率 3% を決定

竹下登内閣で 3 度目の自民党税制調査会会長。「国を背負う政治家なら国民がいやがることをあえてしなければならない時もある」と議論を尽くし消費税法案をまとめる。

2004 (平成 16 年)

享年 83 歳

肺炎のため永眠

衆議院議員在職年数 47 年 9 カ月。初当選の時は最年少議員で、この時は最高齢議員だった。

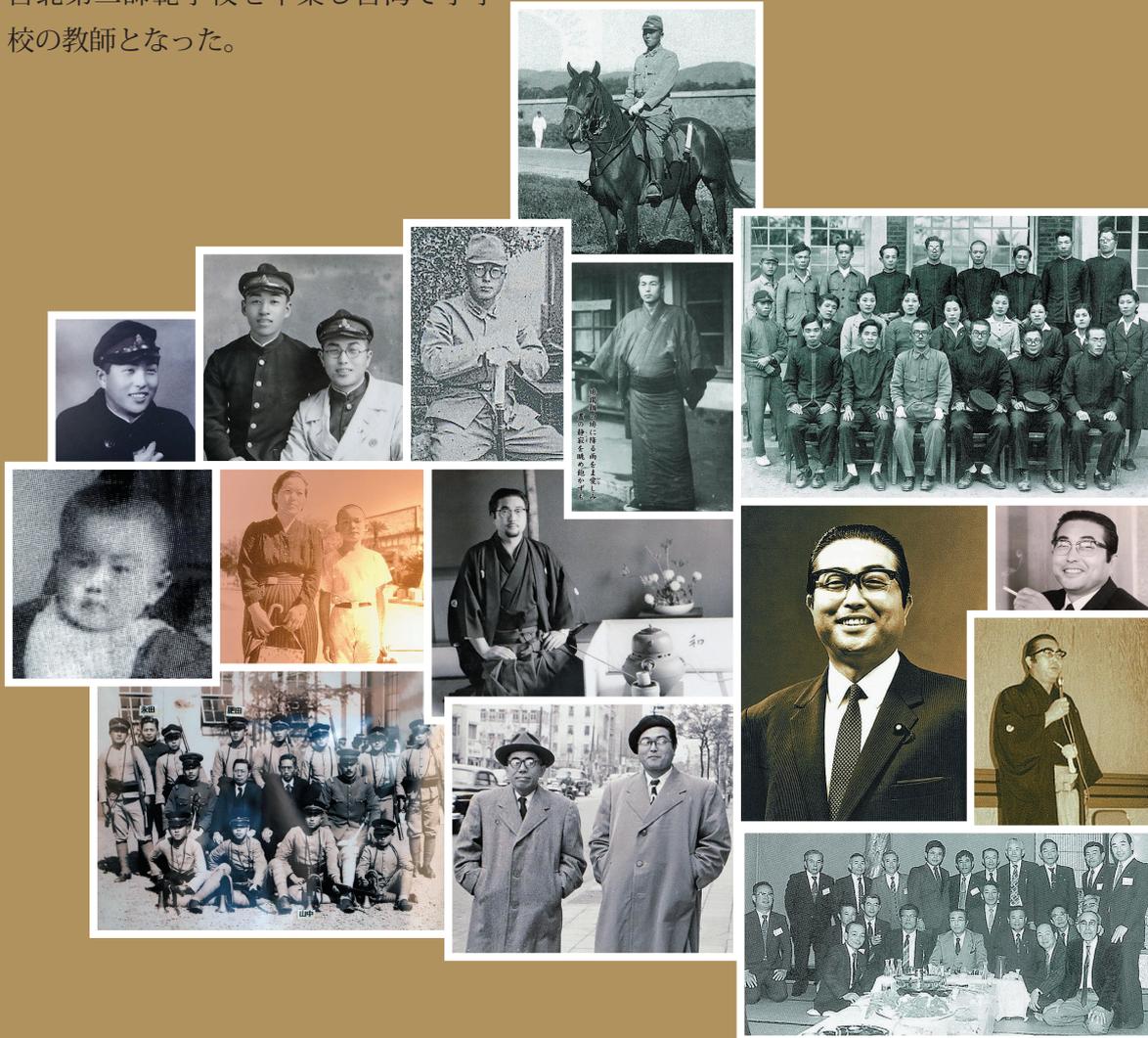
山中貞則

生誕百年

1921(大正 10 年)

**わんぱく小僧、
末吉村深川に生まれる**

熊野神社の神官職の家柄に生まれる。小さい頃から体格がよく、人望があり近所の子ども達を取り巻いて離れなかった。末吉小学校の先生から勧められ旧制都城中(現泉ヶ丘高)へ進学。その後台湾の台北第二師範学校を卒業し台湾で小学校の教師となった。



1947(昭和 22 年)

出征し戦争を経験「戦没者に対し、生き延びている事に申し開きのできる人生を歩む」

戦友の犠牲を無駄にしないと誓い、青年団活動や新聞記者になったが「世の中を作り出す力のあるところに飛び込む」と鹿児島県議会議員選挙に出馬し初当選。

1953(昭和 28 年)

**「こら待て吉田。
なんだその態度は。」**

31歳で衆議院議員選挙に初当選。初登院の時に吉田茂首相にあいさつをしたところ黙殺されて発言した言葉。

1962(昭和 37 年)

**大隅半島の発展に
歴史的な仕事**

大隅町八合原に国立宮崎種畜牧場鹿児島支場(現鹿児島県肉用牛改良研究所)の起工式・産地食肉処理施設(現ナンチク)の地鎮祭を行い、さらに都城~志布志間の道路改修を決定させた。

山中貞則の功績

私はいかなる

金力・権力

暴力にも屈せず

大衆の輿論の

支持する

ところに従い

大衆の幸福の為に

積極かつ良心的に

行動します

魂の公約



信念を貫いた政界の巨星



税政改革



沖縄返還

山中貞則の初陣は若干25歳で挑み初当選した鹿児島県議会議員選挙。このときから、生涯貫き通したひとつの公約がある。それが「魂の公約」だ。その真つ直ぐな姿勢はお金・地盤・人脈も何もなかった青年を県政へ導いた。

県議をへて衆議院議員に17回当選。山中貞則の情熱と行動は県政から国政の場で輝いた。その大きな功績の一つに「沖縄返還」が挙げられる。昭和45年に佐藤栄作内閣で初入閣の際「沖縄に関するすべての権限をゆだねること」「完結するまで担当させること」を条件に沖縄返還問題を担当。返還準備から返還直後の重要な時期に仕事をまかされた。円ドル交換問題の回避など沖縄全体の大きな問題から小さな村の悩みまで気を配り、683本の特例法を作ったり改正したりした。また県議時代から強い関心を



元秘書 中村 和浩さん

晩年の山中先生の秘書を14年間させていただきました。自分に厳しい一方で、義理人情を大切にしている方でした。「弱い人の立場にたって行のが政治」とよく話していました。

持っていたのが財政や税の問題。大蔵政務次官・自民党政調会長を歴任。昭和63年には税制調査会長として徹底して議論を尽くす方法で消費税法案をまとめあげた。平成元年からは同税調の最高顧問をつとめミスター消費税・税調のドンなどと呼ばれた。山中貞則は沖縄返還・税制改革・過疎法の制定・畜産政策などの多岐にわたる政治活動を行い、昭和から平成の世に大きな功績を残した。

「山中殺すに刃物はいらぬ、涙の三筋もあればいい」と言われるほど、感激屋で情の厚い人でした。



…先生用の薩摩切子の水差しがあり、家政婦さんが洗う時に誤って瓶口を欠けさせてしまいました。先生に謝ったところ

「形あるものはいつか壊れる」

と言って一言のお咎めもありませんでした。

自宅でも座敷に寝転んだ姿など一度も見たことはありませんでした。

山中先生はとてもおしゃれで背広を颯爽と着こなしておられ、人前で上着を脱がれたことはありませんでした。

【参考文献】

山中貞則顕彰館『山中貞則生誕百周年記念誌 山中貞則のあしあと』(2022年)

高木秀吉『山中貞則伝 青年政治家 山中貞則の足跡』(2014年)

森山裕事務所『山中貞則先生との思い出 一教へ』(2006年)

山中健太郎・中村和浩・上籠隆一『語録 エピソード集 山中貞則とはこんな人 元秘書達のつぶやき』



館長 川越 孝一さん

ここは山中貞則先生の自宅を改装してできた施設。数々の功績をパネルや映像などで学ぶことができます。先生が集めていた美術品や数多くの所有物も展示しており、見ごたえがあります。

山中貞則顕彰館

- 【開館時間】 午前9時～午後5時
※入館は午後4時30分まで
- 【休館日】 月曜日（祝日の場合はその翌日が休館）・12月28日～1月4日
- 【入館料】 無料
- 【住所】 曾於市末吉町深川5921番地1
- 【電話番号】 0986-76-3836

山中貞則顕彰館に
行ってみたいよう！

山中貞則顕彰館は山中貞則の功績を讃えるとともに、先人の顕彰と将来を担う若者たちの研修・育成の場、地域の人たちが気軽に集う憩いの場です。

山中貞則は国造りに汗を流し、生涯をささげた偉大な政治家で、今に生きる私たちに有形・無形の素晴らしい宝を残してくれました。

その宝を多くの人に見てもらうため顕彰館で貴重な資料を展示しています。高潔で豪胆。人間的な魅力に満ちあふれた山中貞則が歩いた足跡に触れてみてください。